

公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 2020年度 夏季 活動実績報告(御礼)

世界全体、日本国内、そして北海道内の新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大状況を注視し、感染拡大防止を第一に考え活動しました。

『更に外出し難くなった 闘病中の子どもたちや家族に“ちょっとした楽しみ”を贈りました』

●ウォールステッカーギフト

北海道に棲む動物を描いた、貼ってはがせるウォールステッカーをオリジナルで 500 セット製作。全国各地の協力小児科医(病院)へ郵送し、病室の子どもたちと楽しんでもらいました。



「病院で貼られたステッカー」

●おうちキャンプ用品ギフト

これまで全国各地からキャンプに参加した、1000名を超える子どもたちや家族へ、コロナ禍見舞い(お便り)を送付。その中で、ギフトの募集を行い、希望者にはキャンプ用品をプレゼント。おうち時間が長くなったタイミングで、安全にキャンプの雰囲気を感じてもらいました。



「キャンプ気分を楽しむ家族」

『同居する 1 家族のみを対象とし、感染対策を徹底したキャンプを開催しました(計 13 回)』

●日帰りキャンプ 12 回 ～北海道在住～

緊急事態宣言解除後の 6 月から 10 月までのあいだ、キャンプ場の近隣にある滝川市こども発達支援センター、旭川子ども総合療育センターの利用者を中心に、1 家族限定の日帰りデイキャンプを週末に 12 回開催し、12 家族 47 名の子どもたちや家族に、馬アクティビティや森のたんけん、芝生あそびなどを楽しんでもらいました。



「乗馬後の馬とのふれあい」

●宿泊キャンプ 1 回 ～成田赤十字病院より～

秋には、宿泊を伴うキャンプを 1 回開催しました。小児がんとたたかう子どもと家族(茨城県在住 1 家族 4 名)を、主治医同行のもと、2 泊 3 日で招待することができました。家族一緒に乗馬や森たんけん、アーチェリー、焚き火でおやつ作りなど、北海道の自然を満喫してもらいました。



「森たんけん(ツリーハウス)」

《今後の活動計画(2021 年 1 月以降、コロナ禍における活動方針)》

我慢すべきことは、充電期間と捉えじっと我慢し、変化すべきことは、新しくチャレンジする方針で、地球規模の COVID-19 感染症対策、ふんばっていきます。今後ともよろしくご依頼致します。